

Ⅶ 病害虫総合管理集団育成事業

1. 課題名：水稲病害虫の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 柚木地区低農薬米生産組合（佐世保市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 宮崎 敦（30名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： イネミズゾウムシ，コブノメイガ，カメムシ
- (5) 事業の実施内容
  - 1) 病害虫発生状況に応じた防除要否の検討
  - 2) 管理作業及び防除日の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
佐世保市 里美町	12ha	12ha	平成5年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
検討会	5月7日	公民館	30名	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	平成5年度作付計画 及び防除計画検討
現地研修会	6月22日	現地	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	管理、防除現地研修
現地講習会	7月17日	現地	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	溝切機実演講習会
現地講習会	9月10日	現地	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	防除、管理講習会
検討会	10月28日	現地	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	収穫時期検討、目揃 会
検討会	12月7日	公民館	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	防除反省、検討会
反省会	12月16日	農協	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	販売反省会
反省会	6年2月24日	公民館	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	販売反省会
検討会	6年3月24日	公民館	30	普及所、市役所、農協 低農薬生産組合員	平成6年度作付計画 及び防除計画検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
佐世保市里美町	病害虫発生状況把握

(9) 実施の効果

病害虫発生状況調査に基づく適期防除により被害が軽減した。

(10) 今後の課題及び問題点

耕種的防除対策向上及び続行

2. 課題名：きゅうり主要病害虫防除の総合管理（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 大村市農協福重支所寿古きゅうり部会（大村市）  
 (2) 集団代表者（構成員数）： 古川光郎（9名）  
 (3) 対象作物： きゅうり  
 (4) 対象病害虫： 灰色かび病，菌核病，ミナミキイロアザミウマ，ハダニ類  
 (5) 事業の実施内容：  
 1) 耐性菌、薬剤抵抗性発現をなくすためのローテーションの検討  
 2) 健康保全、省力化のための常温煙霧法等防除法の効果的な使用法の検討  
 3) 適切な肥培管理、初期防除の徹底による省農業栽培技術の確立  
 (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
大村市	1.6 ha	1.6 ha	平成5年 4～12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討	9月21日	農協	22名	市、普及所、農協防除所、生産組合	実施計画
研修会	9月28日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	病害虫防除研修
中間検討会	12月15日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	中間検討会
事業実績検討会	6年2月23日	農協	22	市、普及所、農協防除所、生産組合	実績課題検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市寿古町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫防除実態調査</li> <li>・病害虫発生状況調査</li> <li>・肥培管理状況調査</li> </ul>

(9) 実施の効果

ハダニ、スリップスの発生が多く、定植初期の防除に勉めた。

(10) 今後の課題及び問題点

薬剤の散布法、量が問題である。

### 3. 課題名：いちご主要病害虫の総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 北高農協いちご部会（高来町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 伊東正敏（33名）
- (3) 対象作物： いちご
- (4) 対象病害虫： うどんこ病，炭そ病，ハスモンヨトウ，ハダニ
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 肥培管理、薬剤防除の組み合わせによる効果的防除
  - 2) 性フェロモントラップによるハスモンヨトウの大量誘殺効果確認
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
高来町	5.8ha	5.8ha	平成5年7月 ～6年3月	

#### (7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討	6月23日	北高農協 湯江支所	20名	普及所、防除所 農協、部会	実施計画
研修会	7月9日	北高農協 湯江支所	20名	普及所、防除所 農協、部会	病害虫防除 研修
中間検討会	11月2日	北高農協 湯江支所	20名	普及所、防除所 農協、部会	中間検討
実績検討会	6年3月28日	北高農協 湯江支所	20名	普及所、防除所 農協、部会	

#### (8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
高来町湯江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫防除実態調査</li> <li>・病害虫発生状況調査</li> </ul>

#### (9) 実施の効果

病害虫発生状況に基づく適期防除により被害を抑えた。

#### (10) 今後の課題及び問題点

薬剤ローテーションを考えた農薬散布の実施

4. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 大村市農協みかん部会三浦支所（大村市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 佐古和博（106名）
- (3) 対象作物： 柑橘
- (4) 対象病害虫： チャノキイロアザミウマ
- (5) 事業の実施内容：  
黄色粘着トラップを用いたチャノキイロアザミウマの発生消長把握
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
時津町	68ha	35ha	平成5年6月 ～6年5月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
発生予察検討会	7月21日	農協	15名	普及所、農協市役所、部会	発生予察 防除時期 農薬検討
発生予察検討会	8月19日	農協	15	普及所、農協市役所、部会	
防除暦の作成検討	12月15日	農協	15	普及所、農協市役所、部会	

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市西部町 今村町	黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの発生消長調査

(9) 実施の効果

定期防除が行われたため被害は少なかった。

(10) 今後の課題及び問題点

チャノキイロアザミウマの発生初期の把握を行い、適期防除を行うことがある。

5. 課題名：ハウスみかんの防除体系の確立（1年目）

- (1) 集団名（市町村）： 北高農協ハウスみかん部会（高来町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 松本博文（19名）
- (3) 対象作物： 柑橘
- (4) 対象病害虫： 灰色かび病，黒点病，ハダニ，スリップス
- (5) 事業の実施内容
  - 1) 見廻り検討会による合理的防除
  - 2) 黒点病の防除体系の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
高来町	3.5ha	3.5ha	平成5年6月～6年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
ハウスみかん定例会	6月11日	現地～選果場	26名	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について 3. 集出荷計画について 4. 販売促進会の実施について
ハウスみかん定例会	7月23日	現地～選果場	24	部会員、関係機関	選果場別果実抜き取り調査結果について
ハウスみかん定例会	8月20日	現地～選果場	24	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について
ハウスみかん定例会	9月20日	選果場	25	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について
ハウスみかん定例会	10月29日	選果場	25	部会員、関係機関	平成5年産生産；販売反省
役員会	11月2日	選果場	7	部会員、関係機関	平成6年産ハウスみかん栽培暦作成について
定例会	12月20日	現地～選果場	25	部会員、関係機関	1. 平成6年産ハウスみかん栽培暦について 2. 当面の管理について 3. 当面の防除について
定例会	6年1月20日	現地～選果場	25	部会員、関係機関	1. 生産及び生育状況について 2. 当面の管理について 3. 当面の防除について
定例会	6年2月21日	現地～選果場	20	部会員、関係機関	1. 当面の管理について 2. 当面の防除について 3. 摘果方法について

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
高来町 小長井町	・ミカンハダニ、スリップスの被害調査 ・灰色かび病、黒点病の発生調査

(9) 実施の効果

病害虫の発生状況の結果をもとに防除実績、栽培管理等を解析した。

(10) 今後の課題及び問題点

ミカンハダニの薬剤抵抗性の程度が個々のハウスで異なっており、防除対策に苦慮している農家がある。そのため、その対策としてビニール被覆前後の防除を徹底する必要がある。

6. 課題名：水稲主要病害虫防除の総合管理（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 福重有機低農薬米栽培グループ（大村市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 富崎善隆（6名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： いもち病，紋枯病，ウンカ，コブノメイガ，カメムシ
- (5) 事業の実施内容  
種子更新、堆肥・土改剤投入、薄植等の耕種的防除及び防除要否検討による合理的防除
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
大村市福重	4 ha	4 ha	平成5年 6～11月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月7日	農協	8名	協議会役員，農協グループ員，関係機関	計画内容の検討
事業実施計画検討会	6月16日	同上	8	協議会役員，農協グループ員，関係機関	事業実施について
見廻り検討会	8月6日	現地	9	協議会役員，農協グループ員，関係機関	発生状況
事業実績検討会	11月18日	同上	8	協議会役員，農協グループ員，関係機関	実績の検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
大村市立福寺町	堆肥、土改剤の投入及び溝切り剤の効果、アイガモによる耕種的防除対策

(9) 実施の効果

1～3回防除（周辺4～5回）で周辺とほぼ同等の病害虫被害と収量納め、耕種対策及び見廻りによる防除要否決定の効果を確認した。

(10) 今後の課題及び問題点

耕種的防除対策向上及び続行

7. 課題名：水稲病害虫防除の総合管理（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 上免ヒノヒカリ生産団地（松浦市）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 吉田 保（22名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病害虫： イネミズゾウムシ、ウンカ、コブノメイガ、カメムシ
- (5) 事業の実施内容：
  - 1) 病害虫発生状況把握の強化
  - 2) 防除要否の検討
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
松浦市調川町	15ha	15ha	平成4年 6～12月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
定例会	6月29日	公民館	22名	団地全員	田植え後の管理
検討会	7月20日	現地	22	団地全員	コブノメイガ防除
検討会	8月12日	公民館	22	団地全員	穂肥とコブノメイガ防除
定例会	8月29日	現地	22	団地全員	出穂後のカメムシ防除
検討会	10月12日	現地	22	団地全員	刈取適期検討
定例会	11月29日	公民館	22	団地全員	出荷反省会

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
上免里	病害虫発生状況把握

(9) 実施の効果

栽培期間中月1回の巡視検討会を行い、防除要否を検討し、周辺5回防除を3～4回防除で同等の病害虫被害に抑えた。

(10) 今後の課題及び問題点

発生状況巡視、防除要否検討の続行

8. 課題名：水稲スクミリングガイ防除の合理化（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 愛津耕作組合（愛野町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 市村英敏（30名）
- (3) 対象作物： 水稲
- (4) 対象病虫害： スクミリングガイ
- (5) 事業の実施内容：  
アイガモ放鳥による防除試験
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
愛野町愛津	8ha	8ha	平成5年 6～10月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
病虫害の防除について	7月22日	農業センター	20名	普及所、農協	スクミリングガイの防除対策
病虫害の防除について	8月4日	農業センター	20名	普及所、農協	スクミリングガイの防除対策

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
愛野町乙字宮の内周辺	・病虫害発生量調査 ・被害量調査

(9) 実施の効果

アイガモ放鳥では圃場内密度を減少させ、その後の発生増殖を抑制した。

(10) 今後の課題及び問題点

- ・アイガモの飼育管理に労力がかかり、また毎年ひなの購入が必要である。
- ・田植後の放鳥は、苗の生育を抑制する場合がある。



9. 課題名：チャノキイロアザミウマの総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）： 時津町農協みかん部会（時津町）
- (2) 集団代表者（構成員数）： 一瀬 肇（328名）
- (3) 対象作物： 柑橘
- (4) 対象病害虫： チャノキイロアザミウマ
- (5) 事業の実施内容：  
黄色粘着トラップを用いた発生予察に基づく集団的なチャノキイロアザミウマ適期防除の推進
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
時津町	161ha	29ha	平成5年6月 ～6年1月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
支部研究会でスリップスの防除指導	6月18～22日	農協	180名	みかん部会員	防除指導
支部研究会でスリップスの防除指導	8月5日～9日	農協	180	みかん部会員	防除指導
防除暦の作成検討	6年1月17日	農協	8	町、普及所、防除所 経済連、農協、部会長	農業検討

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
時津町西時津 郷字平田尾	スリップスの発消長

(9) 実施の効果

発生予察に基づく集団的な適期防除の推進を行い、防除の効率化を図った。

(10) 今後の課題及び問題点

- ・黄色粘着トラップ上のスリップス類の判別が難しく、調査に時間がかかりすぎており、調査者の熟練が必要である。
- ・トラップ交換の間隔（10日間）が若干長すぎる。重要な時期には5～7日間隔での交換が必要である。

10. 課題名：カーネーションのシロイチモジヨトウ及びタバコガその他ヤガ類の総合防除（2年目）

- (1) 集団名（市町村）：南高農協西郷支所カーネーション部会（瑞穂町）
- (2) 集団代表者（構成員数）：平野幸則（12名）
- (3) 対象作物：カーネーション
- (4) 対象病害虫：シロイチモジヨトウ及びその他ヤガ類
- (5) 事業の実施内容：  
カーネーション栽培において問題になっているシロイチモジヨトウの総合防除対策として防虫網、電撃殺虫器、性フェロモンによる防除を実証展示し、フェロモントラップによる発生活長調査、被害調査を実施した。
- (6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
瑞穂町	3ha	3ha	平成4年6月 ～5年3月	

(7) 事業検討会の開催実績

会議名等	開催時期	開場 催所	構成員 数	構成員の範囲	検討事項
事業説明会	6月15日	瑞穂町民 センター	21名	農協、普及所 部会員、防除所	事業説明
事業実施計画 検討会	7月2日	瑞穂町民 センター	21名	農協、普及所 部会員、防除所	実施計画 について
中間検討会	3月16日	瑞穂町民 センター	21名	農協、普及所 部会員、防除所	調査実績
実績検討会	6年4月20日	瑞穂町民 センター	21名	農協、普及所 部会員、防除所	次年度計 画

(8) 試験圃場の設置

設置場所	設置内容
瑞穂町西郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防虫網、電撃殺虫器、ヨトウコンSの防除効果の実証</li> <li>・トラップによる発生活長調査</li> <li>・被害調査</li> </ul>

(9) 実施の効果

本年はシロイチモジヨトウ、タバコガとも発生が少なかったため被害の発生は少なく、各防除対策の効果が判然としなかった。

(10) 今後の課題及び問題点

防虫網の設置については、ハウス内温度の関係から農家が導入に消極であり、降温対策を含めた実証の実施が必要である。

発生活長調査のためにトラップ調査の継続と団地内の調査地点の拡大が要検討である。